



NPO 法人いわむら一斉塾
三宅 勝義さん
(東野)

三好学博士と桜

郷土の偉大な先人の一人に、岩村藩出身の三好学博士がいます。

博士は、日本の近代植物学の開祖として有名ですが、桜研究の第一人者としてもよく知られています。他にも美しく魅力的な植物が数多くある中で、博士は桜のどこに魅力を感じたのでしょうか。

「日本の桜の発生が日本の国と人同時であって、国民性としっくり合った尊い植物であることを知ってから、特に桜の研究に没頭していますが、研究すればするほどますます複雑になります。だから桜について一生研究するつもりです」と、博士はよく周囲の人に話していたそうです。姿や形ばかりでなく、日本人の国民性の面からも桜に引かれていたようです。

博士は、東京大学へ入学してからも、好きな文学の道を進むつもりで努力もしてきましたが、結果的には途中から植物学の道に進みました。植物学の世界では輝かしい功績を残しましたが、心の中には文学への憧れがいつまでもありません。博士と同世代の文学者に、森鷗外や

夏目漱石がいます。もし博士が文学の道に進んでいたら、この二人に肩を並べていたことでしょう。

博士は著書『植物生態美観』の中で、次の歌を引用しています。

いにしへの 奈良の都の 八重桜
けふ九重に にほひぬるかな
伊勢大輔

遠く奈良の時代から歌にも詠まれている「桜」に対して、文学的なロマンも感じていたかもしれません。ひよっとしてこの文学的な刺激が、桜を選んだ最大の理由かもしれません。



▲三好学が描いた「桜花図譜」から八重桜の一種「麒麟」

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
市中央図書館・伊藤文庫

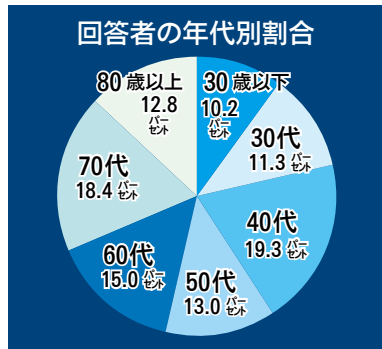
市民意識調査の結果をお知らせします

問い合わせ 企画課 26-2111 (内線346)

市民の皆さんに暮らしの現状や市政への意見を聞き、より良いまちづくりに反映させるため、市民意識調査を実施しました。調査結果は、第2次総合計画の推進や、今後のまちづくりの基礎データとして活用します。本庁舎1階情報公開コーナーや各振興事務所、市中央図書館、市ウェブサイトで結果を確認できます。

調査の概要

対象 18歳以上の市民の中から2500人を無作為抽出
調査方法 郵送での配布回収
調査時期 令和元年8月
有効回答 1190通(回収率47.6%)
性別 男性42.3%、女性57.7%



73・4%が恵那市に住み続けたいと回答

「これから今の場所に住み続けたいか」の問いに対して「住み続けたい」(69.4%)との回答が最多。「市内へ引越したい」(4.0%)と合わせた「恵那市に住み続けたい」(73.4%)が、全体の約4分の3を占めました。年代別では「恵那市に住み続けたい」と感じている方は70代以上が最も多く(90.3%)、最も少ないのは30歳未満(46.8%)でした。年齢が高い世代ほど、これからも恵那市に住み続けたいと考える方が多いようです。

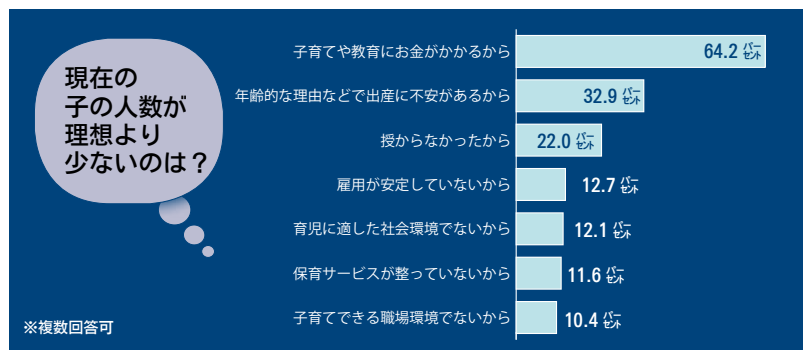
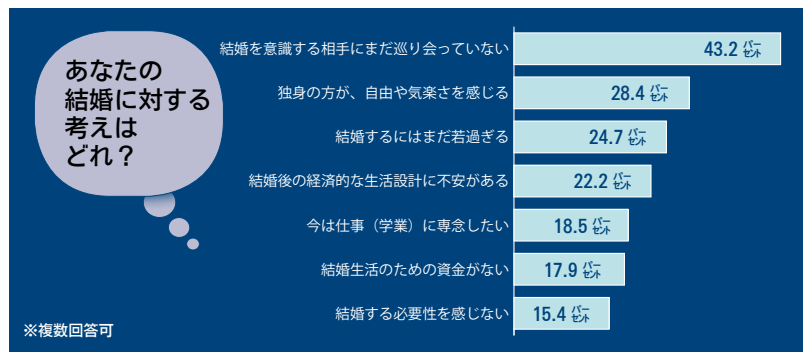
働く環境や医療・子育て環境の充実への声

「今後恵那市に住み続けるために何を伸ばしていくべきか」の問いに対しては、1位が「働く環境」、2位が「医療環境」、3位が「子育て環境」、4位が「アミューズメント施設(娯楽施設)」、5位が「まちづくり・地域活動」でした。年代別では、「働く環境」が全ての年代で1位。また年代が低くなるほど「アミューズメント施設(娯楽施設)」の順位が上がる傾向がありました。

地域別では、全ての地域で「働く環境」が3位までを独占。大井・長島・東野・三郷・武並で「アミューズメント施設(娯楽施設)」、笠置・中野方・飯地・岩村・山岡で「まちづくり・地域活動」、串原・上矢作で「教育環境」が上位に入りました。

子を持っていない理由の上位に経済的負担

第2次総合計画では「人口



減少対策」と「市(財政)の存続」を早急に取り組むべき課題としています。結婚や少子化についての調査結果を、左のグラフで示します。「結婚の状況」としては「結婚している」と答えた方は、全体の約7割でした。年代別では、30歳未満が16.4%、30代・40代が73.3%、50代・60代が88.1%でした。「結婚していない理由」で

は、30代・40代、50代・60代で「結婚を意識する相手にまだ巡り会っていない」が特に多い結果でした。「現在のお子さんの人数が理想の人数より少ない理由」では、「子育てや教育にお金がかかるから」が64.2%で最も高く、次いで「年齢的な理由などで出産に不安があるから」が32.9%でした。

今月の表紙



熱演に拍手喝采！ 第30回伝統芸能大会

恵那文化センターで2月16日、第30回市伝統芸能大会が開かれ、歌舞伎や太鼓、文楽、舞などを保存伝承している11団体が出演しました。

古くから地歌舞伎が行われてきた山岡町の山岡歌舞伎保存会は『心中宵庚申八百屋の献立(お千代半兵衛)』を披露。嫁いびりに耐えかね心中に走る姿を熱演した演者に向け、客席から拍手や大きな声援が飛びました。

数字で見る恵那市

人口(2月1日現在)
総数 49,799人 (-22)
男 24,295人 (-14)
女 25,504人 (-8)
世帯 19,890世帯 (+1)
()内は前月との比較

人口動態(1月異動)

出生 30人
死亡 58人 (-28人)
1月からの自然増減 -28人
転入 85人
転出 79人 (+6人)
1月からの社会増減 +6人

救急車出動回数(1月)

231回(231回)
()内は1月からの累計

交通事故(1月)

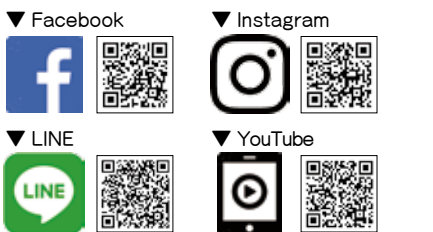
人身事故 10件 (10件)
物損事故 92件 (92件)
負傷者 10人 (10人)
死者 0人 (0人)
()内は1月からの累計

火災(1月)

建物 0件 (0件)
その他 0件 (0件)
()内は1月からの累計

広報えな3月号 目次

- 3 特集 市民意識調査の結果
- 4 特集 ジバスクラム恵那が始動
- 6 特集 認知症かも…? 早めに気軽に相談を
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ健康ガイド
- 18 子育て支援センター・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
- 23 ビジネスサポートセンター
- 23 健幸レシビ・医療の現場から
- 24 出生・1歳になりました園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 岐阜滋賀京都観光ポータルサイト



FacebookやInstagram、LINE、YouTubeの登録は無料ですが、接続料や通信料は利用者の負担です。